



菅波 茂

2001年9月11日、世界貿易センタービルへの航空機突入テロが発生した。人為災害である。AMDAは救援活動を開始した。21日より25日まで、ニューヨークにある米国ユダヤ人世界サービスへ医療ミッションを派遣して1万ドルを寄付した。この組織は杉原財団をもっている。

杉原財団とは、第2次世界大戦中のナチスの弾圧下に、リトアニアから満州国を通じて逃げたユダヤ人に日本国のビザを発給した杉原千畝領事代理を記念して創設された。AM

## アフガン難民

DAは95年1月の阪神大震災の救援活動中にこの杉原財団から5万ドルを寄付していただいたことがあった。今回のテロの原因にはパレスチナ問題があり、センタービル爆破の被害者はユダヤ資本である。「困った時はお互い様」の相互扶助精神でミッションを派遣した。

AMDAは同時に、アフガン難民の発生しているパキスタンにも医療チームを派遣している。AMDAはタリバン政権とも北部同盟とも関係がある。双方の地区で医療プロジェクトを実施した経験があり、双方の閣僚を「医療和平」の構想の下、岡山に招いた経緯もある。パキスタンにはAMDAの支部もあり、ここで動かねば相互扶助の精神が泣く。

今、アフガン国境にあるパキスタンのクエッタで、流入してくるアフガン難民に医療サービスを実施する準備を進めている。パキスタン支部がAMDAの旗の下で実施する医療がアフガン難民に浸透したら、日本、インドネシア、バングラデシュ、そしてスリランカの多国籍医師団が活動を開始する。二段構えのミッションだ。もちろん日本以外の医師はイスラムである。「反テロ、人道支援」がAMDAのスタンス。反テロは米国へ、人道支援はイスラム社会へのメッセージだ。国際社会ではメッセージなき実行は相手に不安感と警戒感を持たせるだけであり、明快なメッセージが不可欠なのだ。

(アジア医師連絡協議会代表、題字は筆者)